

瀬戸内に建つ、400年の歴史

寺とも
かわら版



徳成寺
とく じょう じ

第231号 2026年 3月 発行責任者／住職・大山健児 坊守・大山ひとみ

お坊さんの処方箋・何回はい上がれるか

いつもありがとうございます。住職の大山です。りくりゆうペアの大逆転に、目頭が熱くなったミラノ・コルティナオリンピックも終わりました。

勝者だけが語り継がれるのは、スポーツ界のみならず世の常のようです。そんな中、異彩を放ち続けるのがキングカズこと、元サッカー日本代表の三浦知良選手。彼は、私と同学年で来年還暦を迎えます。

同年代の方がプロ選手としてフィールドを駆け回っているのは、とても信じられない活躍です。

三浦選手は「でも、サッカーは何回成功するかじゃない。何回、はい上がるかだ。つまずくたびにまた勝負を挑む。喜びと悲しみ、起伏ある生を好んで選ぶかのように。」と語っています。これだけ長く現役を続けた彼ならではの言葉でしょう。

しかしよく読むとサッカーに限らない気がします。と申しますのが、起伏ある生を好まなくとも、年齢を重ねますと、否が応でも起伏に富

んで参ります。病を患い、文字通りつまずき転倒し、骨折するなどにはザラにあります。でもその都度、その都度はい上がるしかない。彼は身をもって

狭い街高松

大山超世の耳を澄ませば

お世話になっております、副住職です。長いお付き合いの門徒さんが先日お亡くなりになりました。音楽やサブカルをこよなく愛されていた方で、私にとつては年が離れた兄貴のような方でした。葬儀の後、親戚の方から門徒さんの遺品が然るべき人に渡すように整理をしたいという相談を受けました。そこで、古本屋さんとその門徒さんのことを知っているカフェバーを紹介したところ、何とか遺品整理の道筋がついたようでした。紹介したお店はその門徒さんをよく知っていたので、引き受けて下さいました。改めて高松は狭いなあと思いました。狭いと言うのは面積もそうですが、共通項があれば、

教えてくれているのではないでしょう。か。そんな不屈のいのち・無量寿如来と私たちは一つになって生かされていると教えているのが南無阿弥陀仏のお念仏です。

すぐに近い人間を辿っていける所が狭いと思います。それを窮屈と捉えるのか、安心と捉えるのかは人それぞれだと思います。自分の趣味とコミュニティがまさかこんな形で活かせる事になるとは思っていませんでしたが、今回の一件でこの狭い街を大切にしていこうと改めて思いました。



カフェバーの外観
チャイがおいしいです